

平成29年度研究科横断型教育プログラム（Aタイプ）授業科目

開講方式	Aタイプ (研究科 開講型)	研究科名	医学研究科	カテゴリー	環境・生命・医療科目 群	横断 区分	文理横断型				
授業科目名 (英訳)	地域保健医療福祉論 (Health, Medical and Welfare System)		講義担当者 所属・職名・ 氏名	医学研究科 准教授 里村一成 助教 岩永資隆		開講 場所	医学部構内				
配当 学年	修士 博士後期 専門職	単位 数	2単位	開講年 度・開講 期	後期 前半	曜時限	木3・4限 (13:00-16:15)	授業 形態	講義・ 演習	使用 言語	日本語・ 英語
〔授業の概要・目的〕											
日本における公衆衛生行政の過去、現在、未来についての知識を得る。 特に現在公衆衛生上問題となっている事柄を、歴史的経緯をふまえてとらえ、今後の展開について検討する。 保健医療福祉に関するプレゼンテーションを行い、各自の意見を提示し、それについての討論を行う。											
〔研究科横断型教育の概要・目的〕 医療系以外の学生に配慮し、難解な医学用語の使用は避け、必要ならば解説を加える。 公衆衛生上の問題点を取り上げ、様々な医療職および医療職以外の者のそれぞれの立場・視点・経験から討論を行う。 異なる立場、専門分野の者が理解できるプレゼンテーションや討論ができるようになる。											
〔到達目標〕											
日本の公衆衛生行政の現状と問題点の把握ができる。											
〔授業計画と内容〕											
第 1・2回 日本の公衆衛生の実情概論 第 3・4回 日本の公衆衛生の実情と問題点(1) 第 5・6回 日本の公衆衛生の実情と問題点(2) 第 7・8回 日本の公衆衛生の問題点の検討(1) 第 9・10回 日本の公衆衛生の問題点の検討(2) 第 11・12回 日本の公衆衛生の問題点の検討(3) 第 13・14回 日本の公衆衛生の問題点の検討(4) 第 15回 フィードバック 日程は変更の可能性があるので開講日に確認のこと											
〔履修要件〕											
特になし											
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕											
出席状況、プレゼンテーション、授業内での発言(50%) レポート(50%)											
〔教科書〕											
〔参考書等〕											
『国民衛生の動向』(厚生統計協会) 『国民の福祉の動向』(厚生統計協会) 『保険と年金の動向』(厚生統計協会) 『衛生行政大要』(日本公衆衛生協会)											
〔授業外学修(予習・復習)等〕											
新聞、TV、インターネット等の保健医療福祉行政に関する報道等を興味を持って視聴し、授業内容の理解に役立てること。											
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕											
受講人数によって内容を変更することがある											